

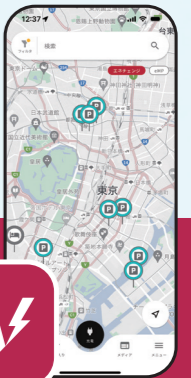
「EV充電エネチェンジ」は設置も月額も電気代も0円!
ご検討はお早めに!

EV充電エネチェンジは

EV普通充電設置口数

EV充電アプリ利用者数

No.1



※EV普通充電設置口数No.1とは認証アプリ提供サービスでの、EV普通充電器(6kW、200V)の設置口数(2025年1月1日時点、GoGoEV調べ)
EV充電アプリ利用者数No.1とはEV充電サービス社によるiOS・AndroidのDL数(2024年10月31日時点、data.ai調べ)

集合住宅・月極駐車場向け
EV充電器が
設置も月額も電気代も

すべて

0円

※0円での導入には条件があります



EV充電器設置によるメリット

Merit
01

空室対策

EV所有者にとって充電器の有無が物件の検討基準のひとつとなるため、充電器の設置が大きなアドバンテージとなり、入居者の呼び込みまたは流出防止に効果をもたらします。

Merit
02

資産価値の維持・向上

EV充電器は宅配ボックスなどと同様に、今後当たり前の標準設備となる可能性が高いです。早期に充電器を設置することで、マンションの資産価値の維持、または向上につなげることができます。

Merit
03

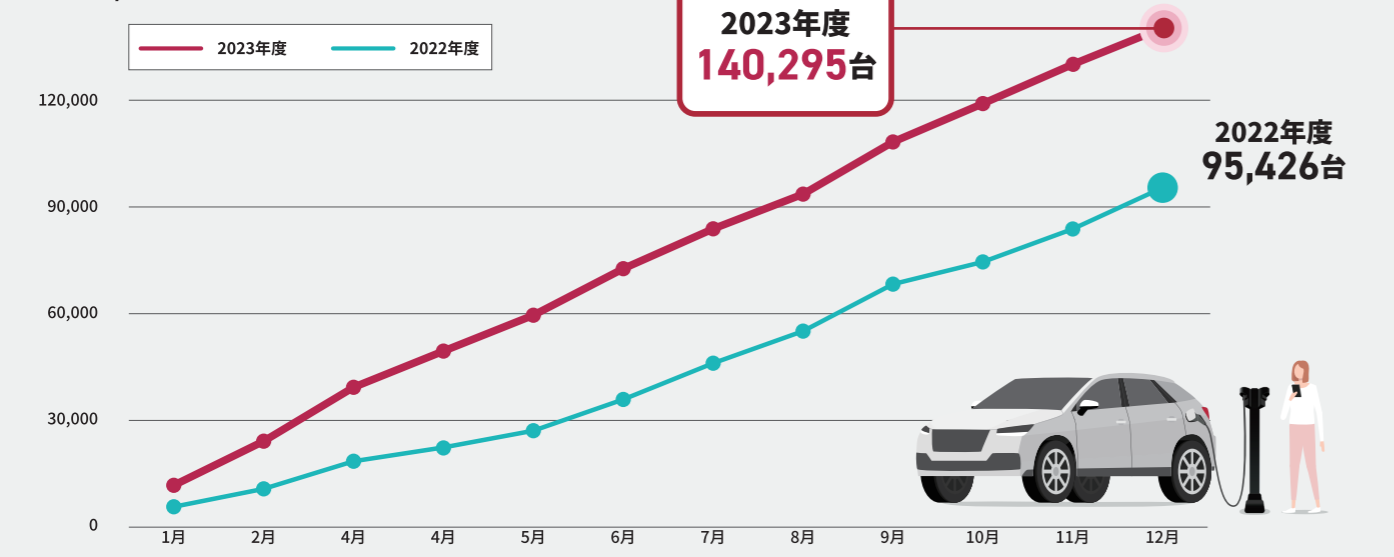
駐車場料金や家賃アップ

EV充電器があることを物件の付加価値として、家賃や駐車場料金に反映することも可能です。EVを所有する入居者がいた場合、その分の収益を新たに付加することも考えられます。

更なる普及が見込まれるEV

日本のEV・PHEVの販売台数は年々増加しています。新車も続々登場し今後も更なる普及が見込まれます。

■ BEV / PHEVの年別累計販売台数



一般社団法人日本自動車販売協会連合会・一般社団法人全国軽自動車協会連合会公表のBEV・PHEVの販売数より作成

政府目標もEV普及の追い風に

2050年までのカーボンニュートラルに向け、政府は以下の目標を設定しています。

乗用車新車販売における電動車の比率

2035年までに **100%**

EV充電器設置数 (EV充電インフラ)

2030年までに **30万口**

(2023年8月に15万基→30万口に目標を変更)

3kWの普通充電器が0円で導入可能

国の補助金とエネチェンジ独自の拠出金をダブルで活用することで、費用負担なく設置可能です。

補助金活用あり / 集合住宅・月極駐車場ゼロプラン	
設置場所	共用駐車区画 / 専用駐車区画
機器・工事費用	0円 ^{※1}
月額費用	0円
充電された電気料金の負担	0円
充電利用料金	1時間135円(3kW充電時)
設置台数制限	補助金要件に従う ^{※2}
契約期間	8年間
充電器出力	3kW

設置費用も
月額費用も
電気代負担も

0円!^{※1}



※1 0円での導入には条件があります ※2 充電器の設置可能台数について

充電器の設置可能台数 (2024年度補助金要件)

3kW

3kW: 最大20口まで

6kW

6kW: 駐車場区画数の10%まで

※補助金要件によって諸条件があります

基礎充電の充電器は3kWがスタンダード

基礎充電は集合住宅・月極駐車場の充電領域のことを指します。

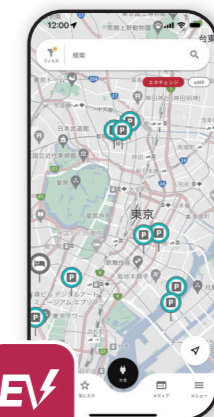


スタンド付き
設置場所に応じて
壁掛けでも対応可能です

3kWタイプ

※充電ケーブルは付属しません。画像はイメージです

公式アプリで簡単充電



充電器出力**6kW**もご用意しています。詳しくはお問い合わせください